

サトイモ疫病を防除するには！

農林水産研究所

サトイモ疫病の登録農薬

R3. 8月現在

農薬名(希釈倍数)	使用時期	使用回数	期待できる効果
ジーファイン水和剤(1000倍)	収穫前日まで	—	予防効果
ペンコゼブ水和剤(500倍)	収穫7日前まで	2回以内	予防効果
アミスター20フロアブル(2000倍)	収穫14日前まで	3回以内	予防とある程度の治療効果
ダイナモ顆粒水和剤(2000倍)	収穫21日前まで	3回以内	予防と治療効果

※ダイナモ顆粒水和剤は、希釈倍数20倍、40倍で「無人航空機による散布」が適用拡大されました。

防除体系モデル

【防除薬剤】	6月	7月	8月	9月												
	① ↓ ② ↓	梅雨入り前 ↓ ↓	初発警戒期 ↓ ↓	梅雨明け後 ↓ ↓	蔓延警戒期(発生増加注意) ↓ ↓											
(梅雨入り前のダニ剤混用散布) (梅雨入り前の殺菌剤単用散布)	【使用時期別の防除薬剤と注意点】		【発生増加前】 ペンコゼブを散布 【台風通過後】 ダイナモ、次いでアミスターを散布 【収穫前】 軟腐病の予防対策も兼ねてジーファインを散布													
※展着剤を加用する ※ダイナモまたはアミスターの連用は、できる限り避ける	○梅雨入り前または梅雨明け後 <table border="1"> <thead> <tr> <th>散布方法</th> <th>時期</th> <th>梅雨入り前</th> <th>梅雨明け後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①ダニ剤混用散布</td> <td></td> <td>ペンコゼブ</td> <td>ジーファイン</td> </tr> <tr> <td>②単用散布</td> <td></td> <td>ジーファイン</td> <td>ペンコゼブ</td> </tr> </tbody> </table> ○初発後 発病葉等を除去し、ダイナモ、次いでアミスターを散布 ○降雨が続くことによる多発前 応急的にダイナモを連続散布(但し、可能な限り「蔓延警戒期」まで温存すること)		散布方法	時期	梅雨入り前	梅雨明け後	①ダニ剤混用散布		ペンコゼブ	ジーファイン	②単用散布		ジーファイン	ペンコゼブ		
散布方法	時期	梅雨入り前	梅雨明け後													
①ダニ剤混用散布		ペンコゼブ	ジーファイン													
②単用散布		ジーファイン	ペンコゼブ													

- ◎下位葉をよく観察して、初発を早期に発見しましょう！
- ◎下位葉まで薬液が十分にかかるようにしましょう(大きな圃場では散布通路を設置)！
- ◎台風等の強風雨で葉が傷ついた時は、特に発病に注意しましょう！
- ◎被害の増加を遅らせることによって、収量への影響を抑えましょう！

薬剤の治療効果(治癒)を見分ける方法



<薬剤散布前の病斑>

- ・病斑の輪郭がぼやけている
- ・白色部分は遊走子の塊



<治癒した病斑>

- ・病斑の輪郭が明確に見える
- ・遊走子の塊が消えている



<治癒していない病斑>

- ・病斑の一部がぼやけている (○印部分)